

2026年5月12日

各位

会社名 三菱製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木坂 隆一  
(コード:3864、東証プライム)  
問合せ先 企画管理本部  
企業戦略部長 山田 大輔  
(TEL.03-5600-1488)

## 三菱製紙 高砂工場、次世代変革プロジェクト『ビヨンド』を本格始動 ～操業125周年の節目に、機能性材料を軸とした「グローバル基幹工場」へ進化～

三菱製紙株式会社は、中期経営計画に掲げる「高付加価値化とグローバル展開で“SHINKA”する機能商品事業」の具現化として、高砂工場(兵庫県高砂市)の次世代変革プロジェクト『ビヨンド』を本格始動することをお知らせいたします。

### 1. プロジェクト始動の背景

高砂工場は、125年にわたる「開発型工場」としての歩みの中で、洋紙の国産化を皮切りに、感熱紙、インクジェット用紙、ノーカーボン紙などの「情報・画像メディア」、さらには水処理膜基材、蓄電デバイス用セパレータといった「機能性材料」など、時代の要請に応じた製品を数多く世に送り出してきました。

### 2. プロジェクトの目的

本プロジェクトでは独自の先進技術を世界へ発信する「グローバル基幹工場」へと高砂工場を進化させるために、総額約100億円の投資を実施し、当社中期経営計画に掲げる機能商品事業の営業利益150億円を目指してまいります。

### 3. 取組内容

機能性材料の売上高比率50%(2025年度35%)とし、工場売上高50%増、営業利益率15%以上の収益体制を確立するために、以下の3つの施策を推進します。

#### ① 成長戦略:成長市場への重点投資

- 機能性材料の拡大に向け重点的に投資を行いポートフォリオの転換を目指します。
- 開発要員の増強とともに、柔軟な人員配置が可能な体制を構築し、主力製品のシェア拡大とサステナブルな新製品の市場投入を実現していきます。

#### ② 生産効率化:製造ライン再編

- 高砂工場の生産体制の抜本的な見直しを行います。  
-成熟市場である情報・画像メディアは、設備統合等を進め、生産効率の最大化を図ります。

#### ③ 組織基盤強化:人的資本への投資と地域社会との共生

- 地域社会と共に歩んできた125年の歴史を継承し、働く人々の安心・安全を次世代へ守りつないでいきます。  
-安全確保のためのDX推進、ワークライフバランス推進のための働き方改革を進め、魅力ある職場環境を整備します。  
-地域に根付いた歴史ある企業として、地域の発展に貢献し、地元雇用の維持・拡大をこれまで以上に進めます。

以上

# 三菱製紙 高砂工場 紹介

操業125周年、機能性材料を軸とした「グローバル基幹工場」へ進化します。



三菱製紙高砂工場は1901年に現在の兵庫県高砂市に移転した歴史ある工場であり、「機能性材料」、「情報・画像メディア」製品の生産拠点です。

時代と共に進化を続け、長年培ってきた製紙技術と未来を見据えた技術力で、持続可能な社会の実現に貢献してきました。

これからも、品質に対する強い意識を持ち、最高の製品を供給してまいります。

## 主要製品

Products



### 機能性材料

成長領域

✓ 水処理膜基材

✓ 蓄電デバイス用セパレータ

✓ フィルター関連製品



### 情報・画像メディア

基盤領域

✓ 感熱紙/リライトメディア

✓ インクジェット用紙

✓ ノーカーボン紙

## 所在地・概要

Access&Outline



所在地 兵庫県高砂市  
播磨臨海工業地帯

敷地 114,000㎡

従業員 465名(2026.3.31現在)

関連会社 三菱製紙エンジニアリング(株)  
浪速通運(株)

## 沿革ハイライト

History

- 1898年  
合資会社 神戸製紙所 設立  
(当社の創立)
- 1901年 **高砂へ工場移転**  
高砂工場の歴史がスタート  
1925年まで本社機能を併設
- 1939年  
情報・画像メディア 生産開始
- 2001年  
高砂工場操業100周年
- 2002年  
機能性材料 生産開始
- **2026年**  
**高砂工場操業125周年**  
**プロジェクト始動**